

---

### QA3 今回の福島第一原発事故による放射線の健康影響はあるのでしょうか

---

これまで基本調査にご協力いただいた皆様の外部被ばく線量推計などから、今回の原発事故による放射線の健康影響は、世界の多くの研究者の知見に基づき、極めて少ないと考えられます。

極めて少ないという意味を正確に言えば、自然界に元来存在する放射線による被ばくに追加された被ばくが少なくとも 100 ミリシーベルト以下であれば、これまでの疫学調査などでは発がんやがん死の確率が高くなるようなことは確認されていません。これは、食事、喫煙、飲酒、運動不足、大気汚染、職場環境、ウイルス、細菌、個人の体質、習慣、及び基礎疾患（糖尿病、脂肪肝炎、高度肥満等）などの様々な他の発がん要因による影響の方が大きく、低線量被ばくのリスクは、あるかないかわからないくらいに低い、ということです。今回の原発事故は極めて重大な事故でしたので、その健康リスクは念には念を入れて予断をもたず健康管理のための調査を行うという対応をしています。この調査は単に放射線の健康影響を調べるというだけでなく、県民の皆様の健康を増進するための基盤づくりにも役立っていくものと考えます。

---

出典：福島県立医科大学 放射線医学県民健康管理センターウェブサイトより作成

出典の公開日：2015年3月31日

本資料への収録日：2015年3月31日